



今後本当に必要なのは**防犯指導員**でも **集団防犯パトロール**でもないのでは？と考えます

犯罪は止むことなく、私たち市民を狙い、突然襲ってきます。見方を変えると自然災害以上に、私たち地域住民が警戒すべき対象となります。

今、町の住民高齢化の波で、防犯活動を率先して行うリーダーの減少/不足が社会の見えざる課題となっています。

現在、千葉県や柏市等の自治体が進める「防犯指導員」制度は、その成り手不足（市内にくまなく配置されている形には残念ながらなっていない模様）、防犯パトロールも高齢化や成り手不足が加速し、必ずしも市内各地での住民防犯活動は芳しい状況といえません。そもそも防犯パトロールの理想的なやり方は、「不定期でのパトロール実施」です。防犯専門家に言わせると、同じタイミング（曜日や時間帯がほぼ同じ）での実施は、犯罪者側にも既知の事実となり、防犯効果は薄くなると指摘されています。要するに、現在各地で実施されている**定期的な巡回パトロールでは、真の町の防犯にはなり難い**のです。

私どもふるさと協議会では、成人住民の多くが防犯を意識して日々の地域防犯にかかわることが重要、そのためには是非、直近の犯罪の実状や対策を継続して理解することを目指し、当会ホームページからの防犯情報の閲覧を呼びかけます。どうか右下掲載のQRコードからアクセスして、ご覧ください。

当該ニュースは毎月月曜日に最新版を掲載し、更には、その間での号外版も随時発行しています。

**今年11月22日(土)午前中に
防犯講習会を予定します
詳細は今後お知らせします**



柏市防犯協会風早北部支部から、防犯グッズとして、
のぼり旗・旗竿・ベスト・誘導棒を無償支給中です。
ご希望の方は「boux2@kazakita.org」にメールでご要望ください。

町の防犯強化 に向けて・・・こんなことに注力してみませんか？

その①: 広報宣伝担当役員さん、出番ですよ！

町内の掲示板を有効活用しましょう

町内に設置されている **マチの掲示板**、古い掲示物が長い間貼りっぱなしであったり、ほとんど何も掲示されていない、なんてことはありませんか？



掲示板は決して町内住民だけが観ているわけではありません。犯罪組織もその状況をチェックし、その地域の住民の防犯への関心の度合いを観察しています。上記のように、掲示板が有効に活用されていない町内は、泥棒の格好の餌食(えじき)になります。

当会では、前頁で紹介した「防犯情報しょうなん」をカラー印刷して、ご希望の団体にお渡ししています。枚数の制限もないので、掲示板の数だけお渡しが可能です。サイズは A4 またはその倍の A3、荒天対策のラミネート加工もいたしますので、遠慮なく下記までお申し出ください。もちろん、その印刷費用はちょうだいしません。

印刷の要望先メールはこちらです boux2@kazakita.org

団体名称、希望枚数、そのサイズ、ラミネート加工の要否、を記載してご請求ください。ご要望から約一週間後には、当会事務室（沼南庁舎1階）でお渡しします。

その②: 環境担当役員さん、出番ですよ！

ゴミ集積所の管理は十分にできてますか？



ゴミ出しルールの徹底やカラス除けゴミネットのかけ方※が不十分で、いつも未回収のゴミが置きっぱなし、ゴミが散乱といった光景があると、上記同様に、犯罪組織は、この地域は環境美化にもあまり関心がない→地域の見守り意識が低い→犯罪を行い易い、となり、確実に犯罪組織に狙われてしまいます。



さんあーるアイコン

ゴミ出しルールとして、柏市が提供する **ゴミカレンダー** は、沼南庁舎1階の5番窓口で無料配布されています。また **市の無料ゴミ分別アプリ「さんあーる」の活用**（沼南庁舎1階のふるさと協議会事務室前に本アプリの案内チラシがあります）もお勧めします。 ※ゴミネットのかけ方の工夫あれこれは、今後随時本紙面でご案内します。